

○患者説明用の啓発資材の作成(患者意識の改革)

これまで重複投薬されている後期高齢者に複数のお薬手帳をまとめることができる「ポケット付きお薬手帳ホルダー」を送付し、お薬情報の一元化を促進。

お薬手帳について、文字による個別の医薬品情報の提供となるため、患者目線では、その都度のお薬情報を把握することは容易であるが、全体のお薬情報を把握することが難しいという患者の声が寄せられている。

そこで、患者のお薬情報について、薬効毎に何種類あるかを可視化するシート(見える化シート)を作成。これを薬局における服薬指導に活用。

⇒まずは検証的に実施することとしたい。



お薬見える化シート

あなたの服用しているお薬の種類です
お薬は正しく服用しましょう

全部で 種類服用

	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類以上
血圧・心臓					
胃腸・便秘・下痢					
痛み					
寝つき・ドキドキ					

服用しているお薬の相談(お薬が余った・効果・副作用・種類など)は、ご連絡なく医師・薬剤師にご相談ください

公益社団法人福岡県薬剤師会

福岡県における今後の取組(患者説明用の啓発資材の作成)

○対象薬局

・県内4地域(北九州、福岡、筑後、筑豊)から
各地域10~20薬局程度(計40~80薬局程度)

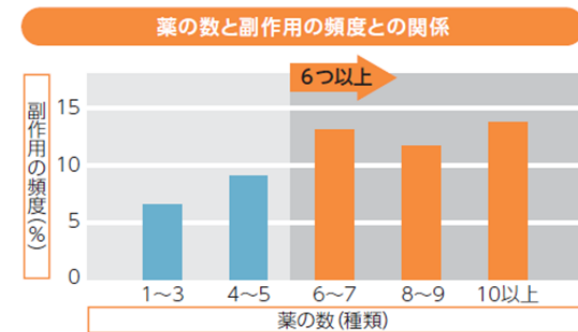
○対象患者群

・シートを活用する患者の想定(案)



お薬見える化シートのイメージ(案)

→お薬に関する相談の際など、ポリファーマシー懸念のある方に、お薬手帳での説明に加え、当該シートを活用することで、より患者さんの理解を促す。



Kojima T, Akishita M, et al. Geriatr Gerontol Int. 2012

福岡県における今後の取組（スケジュール）

	令和5年度（2023年度）			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
協議会		● 第1回		● 第2回
薬局実態調査事業	調査項目検討	調査実施	結果分析	
患者説明用の 啓発資材の作成事業	資材等検討	事業実施	結果分析	
ポリファーマシー研修会 （多職種向け）			●	
啓発事業			● 啓発 「薬と健康 の週間」	